

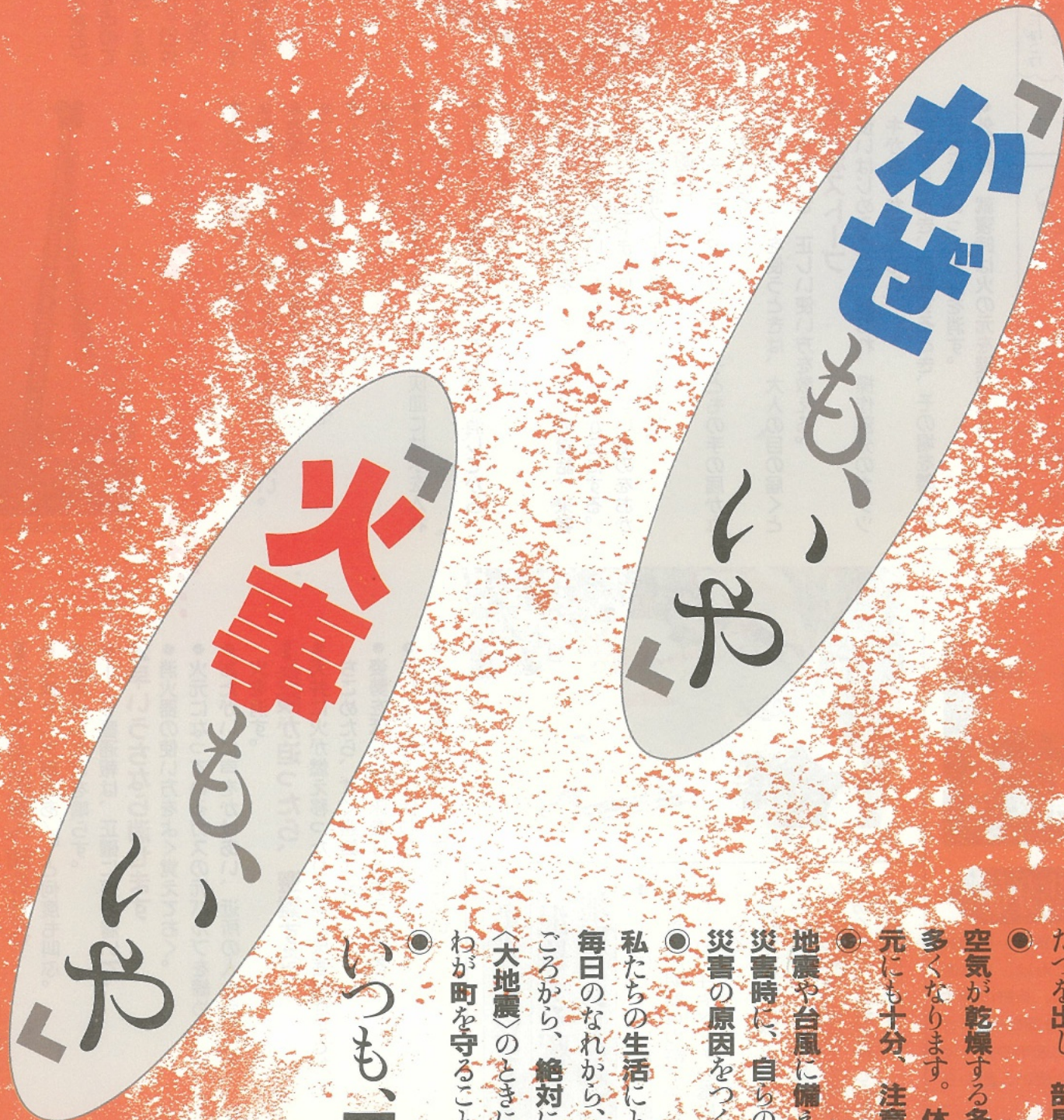
# 備える。

準備。予備。整備。装備。守備。警備。  
 ぞなえる…用意する、そろえる、用心する  
 防備。常備。完備。不備。具備。兼備。  
 ぞなえ…したく、用意、警戒、防衛  
 備品。設備。備蓄。備員。備考。備忘。  
 ぞなわる…準備ができる、身に付く  
 ●●●ソナエ アレバ ウレイナシク

no. **27**

かわさき  
**防災広報紙**

昭和61年10月31日発行  
 発行●川崎市  
 編集●土木局防災対策室  
 〒210 川崎市川崎区宮本町1番地  
 TEL.(044)200-2111内線2841



## だから、用心。

- 燃える秋もそろそろ終わり、火の季節、火が恋しい季節になりました。物置や押し入れから、ストーブやこたつを出し、部屋の中に設置するのも、もつすぐ。
- 空気が乾燥する冬は、風邪をひきやすくなり、火事も多くなります。体の健康とともに、ふだんから、火の元にも十分、注意しましょう。
- 地震や台風に備えることだけが、防災ではありません。災害時に、自らの生命・財産を守ると同時に、自らが災害の原因をつくらないようにすることが大切です。
- 私たちの生活にとって、なくてはならないもの、〈火〉。毎日のなれから、ついうっかりしやすいためです。日ごろから、絶対に火を出さないように気を配ることが、〈大地震〉のときにも、出火を防ぎ、火災からわが身、わが町を守ることになるでしょう。

## いつも、用心。

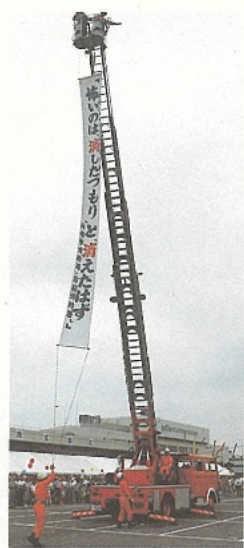
1986 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日  
 11 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

★ 毎月15日は川崎市民地震防災デーです ★

# 「火災予防」は、防災の基本!

## 火災の原因

昭和60年中の火災原因のうち、「放火(疑いを含む)」が146件(36.3%)で、10年連続トップを占めています。次いで2位「たばこ」47件(11.7%)、3位「ガスコンロ」42件(10.4%)、4位「火遊び」23件(5.7%)、5位「石油ストーブ」10件(2.5%)、「溶接・溶断機」10件(2.5%)の順となっています。以下、主だったものをあげると、風呂釜9件、電気ストーブ7件となっています。



火災予防広報(宮前区民祭)

## 火災を防ぐためには...

- 1 放火を防ぐために**
  - 家のまわりに、燃えやすいものをおかない。
  - 物置、空家、車庫に鍵をかける。
  - ゴミは、指定された日の朝に出す。
- 2 タバコ**
  - 寝タバコはしない。
  - タバコの投げ捨てはしない。灰皿には水を入れておく。
  - ちよつとの用事でも、必ず完全に消してから、その場をはなれる。
- 3 ガスコンロ**
  - 天ぷらなど湯ものをしているときの電話、来客の対応は必ずいったん火を消してからにする。
  - コンロの上やまわりに、燃えやすいものをおかない(石油ストーブについても同じ)。
- 4 火遊び**
  - マッチやライターなどは、子どもの手の届かない所へおく。
  - 工作などで火を使うときは、大人の目の届くところさせ、正しい使い方を教える。
- 5 石油ストーブ**
  - 使いはじめる前に、油もれ、操作部分のガタツキがないか確かめる。
  - 給油するとき、移動するとき、その場を離れるときは、いったん火を消す。
  - 外出時、就寝時は火の元を確認する。

## ボサイくん 高井研一朗



### 最近5年間の主な火災原因(川崎市)

年別	順位	火災件数(件)	1位	2位	3位	4位	5位
56		332	放火 108 (27.6%)	たばこ 55 (14.0%)	ガスコンロ 34 (8.7%)	火遊び 29 (7.4%)	風呂釜 20 (5.1%)
57		412	放火 134 (32.5%)	たばこ 61 (14.8%)	火遊び 39 (9.5%)	ガスコンロ 33 (8.0%)	風呂釜 13 (3.2%)
58		375	放火 124 (33.1%)	たばこ 53 (14.1%)	火遊び 37 (9.9%)	ガスコンロ 32 (8.5%)	風呂釜 10 (2.7%)
59		340	放火 80 (23.5%)	たばこ 49 (14.4%)	ガスコンロ 39 (11.5%)	火遊び 32 (9.4%)	石油ストーブ18 (5.3%)
60		402	放火 146 (36.3%)	たばこ 47 (11.7%)	ガスコンロ 42 (10.4%)	火遊び 23 (5.7%)	石油ストーブ10 (2.5%)

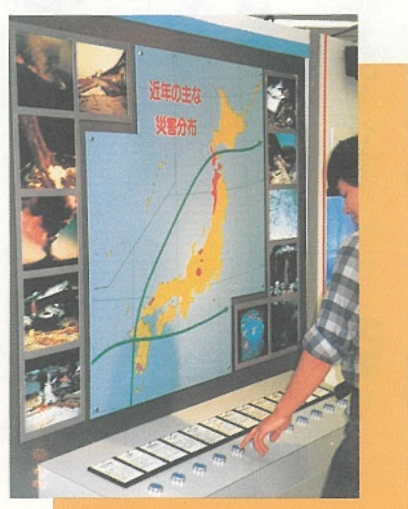
(川崎市消防局「昭和61年予防広報資料」より)

## 防災センターだより 18



### 近年の主な災害分布

南部防災センターでは、新しい視聴覚機材を設置しました。これは、日本海中部地震、桜島火山降灰、長野市地すべり、三宅島噴火、など12例が展示され、日本各地で発生した近年の主な災害分布を、地図と写真を使い、わかりやすく図解したものです。南部防災センターでは、これら各種展示物を更に充実させ、より多くの方々が、この施設を見学、活用されますようお願いしています。



●ご利用、ご見学のお問い合わせは  
川崎市南部防災センター  
川崎市川崎区小田7-3-1 TEL.355-2175  
交通=国鉄川崎駅中央口14・21出入口1番のりば 臨港バス富士電機行き小田小学校前下車徒歩6分



天ぷらなべの消火(高津区)

## 「混雑する駅で、地震にあつたら」

●ホームに立っていたら、頭上の表示板や照明器具の落下から身を守るため、柱やベンチの陰に身をひそめる。  
●避難するときは、人の流れにさからわないで、流れに従う。ホームからの転落、階段での将棋倒しを防ぐため、絶対に押し合わず、駅員の指示に従う。

- 1 近所や消防署へ知らせる**
  - 大声で「火事だあ!」と何度も叫ぶ。
  - 非常ベルなどを鳴らす。
  - 119番通報は、正確に落ち着いて。
- 2 早いうちなら消せます**
  - 消火器の使い方をよく覚えておく。
  - 火元になっているガスの元バルブを締める。
  - おたがいに声をかけあい、近所の人と協力して火を消す。
- 3 危険が迫つたら、避難する**
  - 天井に火が燃え移ったり、煙が床面付近までたちこめたら、すぐ避難する。
  - 姿勢を低くし、床をはうようにする。
  - エレベーターは使わない。
  - 一度避難したら、ひき返さない。

## 「何が、有つたのか」

こともできないような有様を見て驚いてしまった。何年か見てきた町ではあつたが、どこに何が有つたのか、道がどうなつたのかもわからないほどであつた。汽車の中で聞いた限りでは、私の家の方まで焼けていないとのことだつたが、今まで見慣れた家は無くまわり一面が焼け野原となつていて、自分の家がどの辺にあつたのかさえもわからないほどであつた。

その時は別に驚きもしなかつたが、時がたつにつれて、ボロでガタガタな家ではあつたが、8年も住んだ我が家が忽然と消えてしまったことが次第に実感となつてきて、悲しみが深くなつていった。しかし、直ちに開始された救援活動により、暖かい励ましの手紙や物資が続々と届けられ、私達をたいへん元気づけてくれた。

三沢は、大火後驚くほど早く復興した。もつと建ち、人々は大火があつたことなど忘れてしまつたかのように見える。実際あのような恐ろしいことは忘れてしまいたい。しかし、ふとした不注意が巨大な災となつて、人々を不幸のどん底におとし入れてしまつたことを思うとき、火には十分に注意しなければならぬことだけは忘れてはならないと思う。

大火の私達に与えた打撃は大きいが、全国から寄せられた励ましは、私達を勇気づけてくれたものであり、また人々の善意の尊さを教えてくれたものとして、生涯忘れられない思い出となることである。(一部省略)

※三沢大火 出火日時:昭和41年1月11日14時14分ごろ、風向:西、風速:22~26m、全焼:48戸、罹災世帯:89戸、罹災人口:2152人。

## 体験談 その27

「三沢大火誌」から(三沢市提供) 大沢高校2年(当時) 山本京子さん

あの恐ろしい大火があつてから、1年以上もたつた今では、火災の跡もなく、町も大火の前以上に活気づいてきた。火事があつた日は、風こそ強かつたそうであるが、まさかあれほど広がるとは誰が思ったであろうか。あの日、幸か不幸か、私は親戚の家に、冬休みを利用して遊びに行つていたために三沢には居なかつた。帰りの汽車の中で、三沢に大火があつて、町の大半が焼けてしまつたと話しているのを聞いてはきたが汽車を降りて家へ帰る途中、焼ける前を想像する